

令和4年度 個別学力検査（後期日程）

筑波大学 人間学群 教育学類

「論述」問題冊子

試験実施日 令和4年3月12日

実施時間 午前10:00～11:00

〔解答上の注意〕

- 1 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子1冊、答案用紙2枚、下書き用紙1枚が配布されていることを確認しなさい。問題冊子は表紙を含めて2頁あります。
- 3 解答に当たっては、指定された答案用紙をそれぞれ使用しなさい。
- 4 解答は、指示がない限り、日本語で書きなさい。
- 5 採点対象となるのは答案用紙だけです。  
下書き用紙に書かれた内容は採点の対象となりません。
- 6 「解答始め」の合図があつたら、すべての答案用紙の所定欄に氏名と受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 7 質問がある場合や、気分が悪くなった場合は、手を挙げなさい。

〔回収上の注意〕

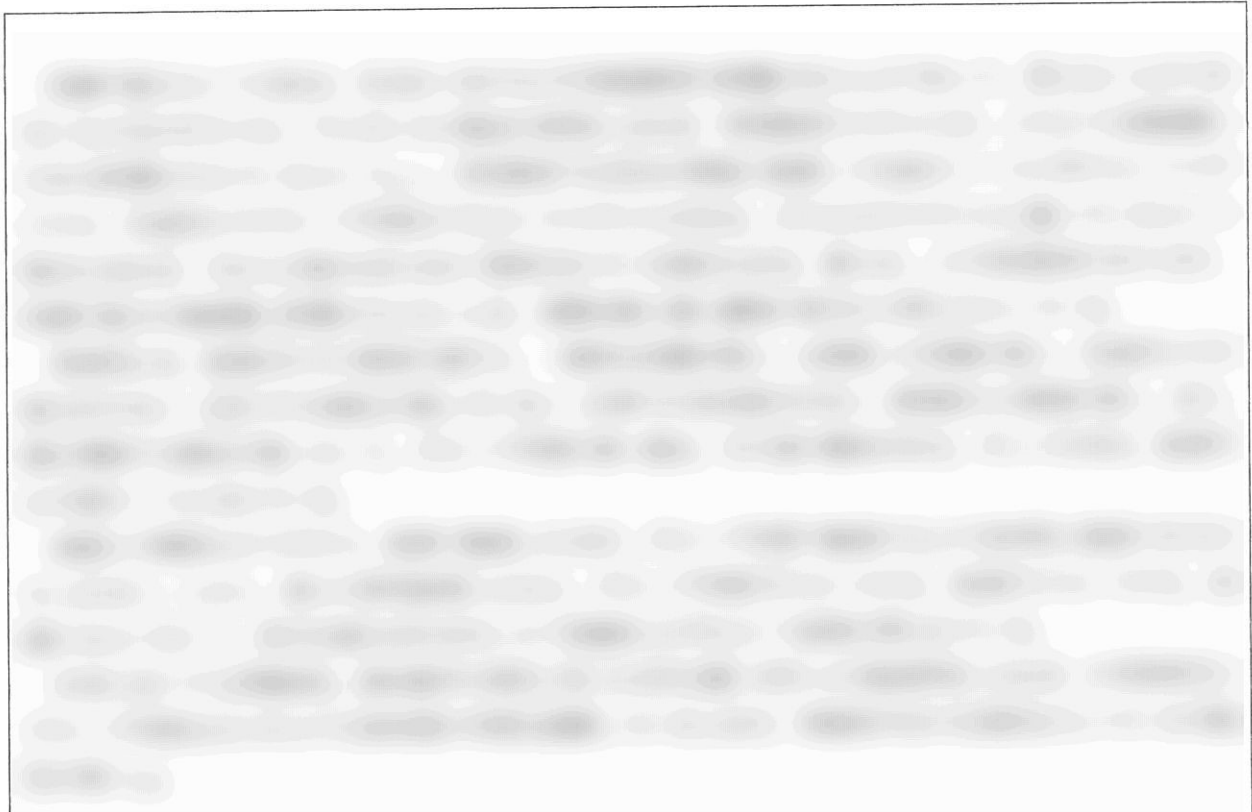
- 1 2枚の答案用紙を、問題番号順に重ねなさい。  
重ねたまま回収します。
- 2 問題冊子と下書き用紙は回収しません。持ち帰りなさい。

令和4年度 個別学力検査（後期日程）  
筑波大学 人間学群 教育学類  
「論述」問題

【問1】

筑波大学人間学群教育学類で何を学びたいか。教育学類の特徴をふまえつつ、200字以内で答えなさい。

【問2】 以下の文章を読み、下の問に対して解答しなさい。



註1 Yann Algan, Pierre Cahuc and Andrei Shleifer (2013) "Teaching Practices and Social Capital," *American Economic Journal: Applied Economics*, 5 (3), 189-210.

註2 Takahiro Ito, Kohei Kubota and Fumio Ohtake (2015) "The Hidden Curriculum and Social Preferences," mimeo. ISER DP, 954.

【出典】大竹文雄『競争社会の歩き方-自分の「強み」を見つけるには-』中央公論新社、2017年、141-142頁。  
(一部改変)

問

「板書中心の国の一つとされている」日本の学校教育に「生徒同士がグループ学習をする」というスタイルを組み込むとすれば、どのようなことに留意しなければならないか。あなたが中学校・高等学校の教師、もしくは教育関係者であると仮定し、かつ、自身の学習経験を盛り込みながら、自らの考えを800字以内で論じなさい。